

# 新刊書のご案内

## マレーシア国民の ゆくえ

### 多民族社会における国家建設

モハメド・ムスタファ・イスハック

マレーシアは、経済面で急速な発展を遂げてきましたが、国家建設プロジェクトはいまだ完成しておらず、基本的な国家政策として残っています。

本書では、1970年以降のマレーシアにおける国家建設、特に1991年のマハティールによる2020年構想で打ち出された、バンサ・マレーシア（統合されたマレーシア国民）という考えが、どのように発展してきたのかを解説し、マレーシアの社会と政治が、どのようにして国家建設やバンサ・マレーシアの構築に影響を与えてきたのかを議論しています。

マレーシアの民族問題や国家建設を分析する上での新たな視点は、読者がマレーシアの社会と政治への理解をより深めていただける一助となるでしょう。

本書は、昨年『ハラルをよく知るために』に続き、マレーシアの良書を日本に紹介する活動として、国立マレーシア北部大学副学長で著名な政治学者、モハメド・ムスタファ・イスハック教授の著書『The Politics of Bangsa Malaysia Nation-Building in a Multiethnic Society』（1994年国立マレーシア北部大学出版局刊）を、公益社団法人日本マレーシア協会、マレーシア翻訳書籍研究所(ITBM)、国立マレーシア北部大学出版局の協力により、日本語版として翻訳・出版されたものです。

『マレーシア国民のゆくえ』 多民族社会における国家建設 モノクロ 320頁 著者 モハメド・ムスタファ・イスハック 発行所 公益社団法人日本マレーシア協会 発売元 株式会社紀伊國屋書店 定価 本体 4,000円＋税	＜目次より＞
	第1章 民族とナショナリズム 第2章 マレーシアにおけるアイデンティティ形成 第3章 国家建設から国民意識の形成へ 第4章 それぞれの国家像 第5章 国家像に関する論争 第6章 バンサ・マレーシアの形成 第7章 マハティール主義と国家の未来 第8章 バンサ・マレーシアのゆくえ

**本書は全国の主な書店でお求めになれます。**

**平成 27 年 8 月以降に書店にてご注文ください。**

# 新刊書のご案内



ハラール (halal) は、イスラム法によって許されるものと定義されている概念ですが、マレーシアをはじめとする東南アジアや中東地域の経済発展に伴い、世界中で関心が高まっています。本書は、マレーシア国際イスラム大学 (IIUM) 国際ハラール研究研修機関 (INHART) に所属する専門家が執筆した記事をまとめたものとして、2013 年にマレーシア翻訳書籍研究所 (ITBM) によって出版された『Halal: All That You Need to Know』を、ITBM と公益社団法人日本マレーシア協会の協力により、この度、同書の邦訳版『ハラールをよく知るために』として、翻訳・出版することになったものです。

本書は、ハラール関連の時事問題を幅広く取り上げ、生活にまつわるハラールの側面を数多く紹介している。法学とハラール認証、食品と加工、化粧品、日用品、医薬品、ツーリズムと接客業、銀行と金融、そのほかハラール関連のさまざまな情報を満載しているため、ハラールに関心を持つすべての人にとって貴重な資料となることでしょう。

<p>『ハラールをよく知るために』 A5 版 モノクロ 170 頁 編 者 ユミ・ズハニス・ハスユン・ハシム 発行所 公益社団法人日本マレーシア協会 発売元 株式会社紀伊國屋書店 定 価 本体 3,000 円 + 税</p>	<p style="text-align: center;">&lt;目次より&gt;</p> <p>第 1 章 法学とハラール認証 第 2 章 ハラール食製品とプロセス 第 3 章 ハラール化粧品、日用品、医薬品 第 4 章 ハラール・ツーリズムと接客業 第 5 章 イスラム銀行と金融 第 6 章 その他の分野のハラール</p>
--	--

**本書は全国の主な書店でお求めになれます。  
平成 27 年 8 月以降に書店にてご注文ください。**